

まなむちから
学びに向かう力を

そだ
育てるための

かてい がくしゅう
家庭学習 のてびき

石岡市立小桜小学校

『生きる力 学びの その先へ』

上のタイトルは、文部科学省が保護者や地域の方々へ周知・広報のために作成されたリーフレ

ットのタイトルです。そして、次の3つの願いが示されています。

・学校で学んだことが、子どもたちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

・これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれの思い描く幸せを実現してほしい。

・そして、明るい未来を、共に創っていききたい。

小桜っ子たちにも、「学ぶ過程で、先の人生につながる力を身に付けてほしい。」

「自分から課題を見付け、それを試行錯誤しながら解決していく力を身に付けてほし

い。」そして「豊かな人生を歩んでいってほしい。」と願っています。

今の子どもたちは、変化が激しく、先の予測が困難な時代を生きていくことになりま

す。そのような時代に必要な力を身に付けるためにも、我々教師や保護者の皆様が子

どもの頃に体験してきた授業や家庭学習の在り方を今一度見直していく必要がある

と考えました。

作成した手引きを参考にして家庭学習を進め、生きる力を育てていってほしいと

思います。

がくしゅう 学習メニュー

きそがた

A がっちり基礎固めメニュー

- 音読（おんどく こえ だ よ声に出して読んでみよう）
- 日記（にっき いちにち ふ かえ か一日を振り返って書いてみよう）
- ノートや教科書の視写
きょうかしよ ししや
（まちがていねいに、間違えないように）
- 意味調べ（い みしら わ ことば しら分からない言葉を調べよう）
- 漢字練習（かんじれんしゅう と き止め・はね・はらいに気をつけて）
- 計算練習（けいさんれんしゅう せいかく と正確に解けるように）

じゅぎょうないようていちゃく

B 授業内容定着メニュー

- 授業ノートをよ読み返す
じゅぎょう
- 授業ノートのまとめノートづくり
じゅぎょう
- 教科書のまとめノートづくり
きょうかしよ
- 教科書問題再チャレンジ
きょうかしよもんだいさい

じゅぎょうないよう

C 授業内容つながりメニュー

かのう はんい じっけん じっしゅう
○可能な範囲での実験や実習

(理科・図工・音楽・体育・家庭科など)

へいこうどくしょ
○並行読書(国語の教科書の単元末に紹介されているものもあります。)

みぢか しら
○身近なものの調べ

こく ご しろ よ じじゆくごしら
国語：ことわざ調べ、四字熟語調べ等

り か い ものかんさつ てんきしら
理科：生き物観察、お天気調べ等

しゃ かい ち ずきごう とどうふけんめい けん とくさんひんしら
社会：地図記号や都道府県名(漢字で)、県の特産品調べ等

さん すう ずけい くく かぞ
算数：図形や九九で数えられるもの等

ずこう かいが せいかつか い ものしら きせつあつ てつだ
図工：絵画、工作等 生活科：生き物調べ、季節集め、お手伝い等

きょうみ かんしん

D 興味・関心メニュー

にっき せんせい み かんそうぶん しんぶん きじあつ
○日記(先生あのね)(見つけたよ) ○感想文 ○新聞記事集め

すう かたち ふしぎしら
○数や形の不思議調べ ○パソコンタイピング

こうじょう しら
○□□(工場)のひみつ調べ ○プログラミング

かいが さくひん とどうふけんしら さくし さつきよく
○絵画作品づくり ○都道府県調べ ○作詞・作曲

せかい こつきしら れきしじょう じんぶつしら
○世界の国旗調べ ○歴史上の人物調べ

りょうりづく りょうり づく
○料理作り ○料理レシピ作り

えいたんごしら など
○ピクチャーディクショナリーに出てくる英単語調べ等

ていちゅうこう がくしゅう しかた 低 中 高 での 学 習 の 仕 方

ていがくねん

◎ 低 学 年

かていがくしゅう しゅうかんか はかじき

[家庭学習の習慣化を図る時期]

- 決まった時間に決まった場所で学習を行う。
- 文字や数字をノートのマス目の中に丁寧に書く。
- 教科書等を声に出して読む。
- 「全員行う宿題」や「自分で選んで行う宿題」に取り組む。
- 2学期から、少しずつ「学習メニュー」の内容を加えていく。

☆「時間割を揃える」「鉛筆を削る」「連絡帳を確認する」

「プリントをお家の人に渡す」なども低学年のうちに身に付けたい

「自主的な力」です。

ちゅうがくねん

◎ 中 学 年

じぶん けいかく た じき

[自分で計画を立てる時期]

き じかん き ばしょ がくしゅう おこな

○決まった時間に決まった場所で学習を行う。

やくそくしゅくだい ぜんいんおこな

○「約束宿題（全員行う）」や「選択宿題

じぶん えら おこな と く
(自分で選んで行う)」に取り組む。

じぶん かんが はんたん おこな
○自分でバランスを考え、判断してA～Dを行う。

◎ 高 学 年

じぶん がくしゅう う こ じき
[自分の学習に打ち込む時期]

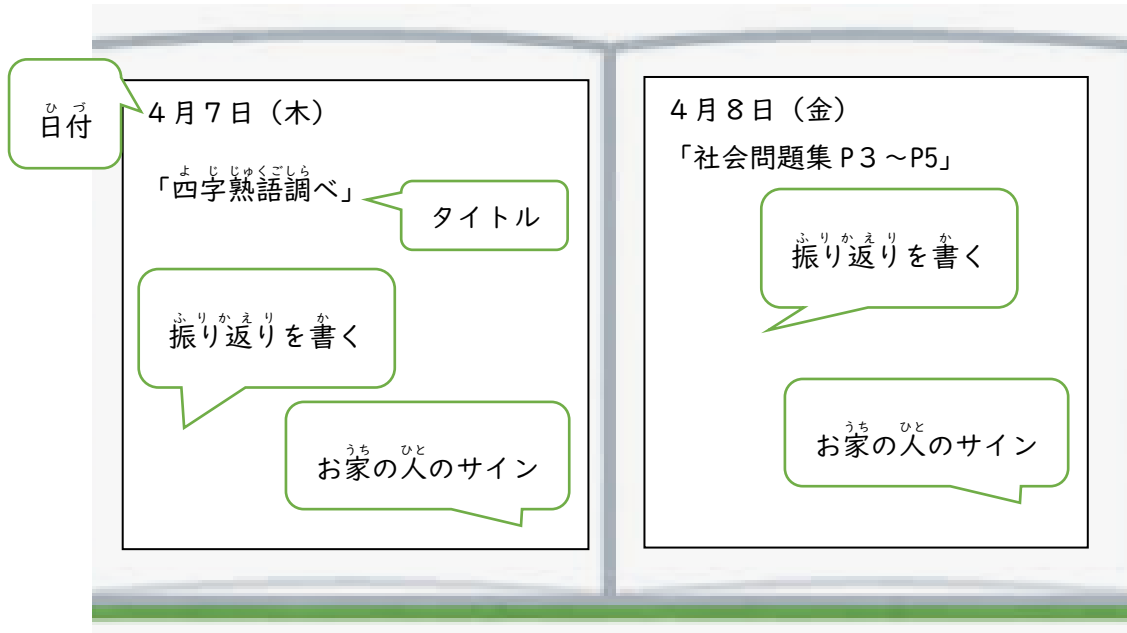
き じかん き ばしょ がくしゅう おこな
○決まった時間に決まった場所で学習を行う。

しゅくだい じぶん かだい とら
○宿題があってもなくても、自分の課題を捉えたり、 balan

かんが がくしゅう ないよう はんたん
スを考えたりしながら、学習する内容を判断してA～D

おこな
を行う。

自主学習ノートの提出の仕方



○ 学習時間やページ数にはこだわられません。

○ 力を付けるために 行いましょう。原則、毎日行います。

○ 質問したいことがあれば、付箋などで分かりやすくしておいてください。

○ マル付けは自分またはお家の人が行います。

○ お家で用意した問題集や習い事の教材を学習した場合は、行った

内容と振り返りを書いて、お家の人からサインをもらって提出しましょう。

○ 提出する日には担任の先生から指示があります。

○ 体調不良や都合でできなかった場合は、その理由を書いて提出しましょう。

○ 担任の確認は、原則サインやスタンプ、シールとします。

添削したり、コメントを書いたりする場合もあります。

かんじ けいさん つか かた 漢字・計算ドリルの使い方

◎漢字や計算は、全ての学習の基礎となるものです。

授業で学習した内容を理解した上で、繰り返し練習することで確かな力が身についてきます。

しかし、本来「力を付けるという目的」のための「手段」が、いつの間にか「ドリルを終わらせるということが目的」になり、“こなすだけの作業”になってしまっている面も見られます。

◎そこで、小桜小学校では「個に応じたドリル学習」を進めるととします。

かんじ [漢字ドリル]

すく かいめ
・少なくとも1回目は行う。

かいめいこう ていちゃくど おう かつよう
・2回目以降は、定着度に応じて活用する。

げつれい けっか おう さいどかつよう
・月例テストの結果に応じて再度活用する。

たん かずおお れんしゅう
☆単に数多く練習するだけでなく、そ

かんじ つか ぶんしょう じゅくご つく
の漢字を使った文章や熟語を作ってみる。

けいさん [計算ドリル]

かいめ りかいど
・1回目を行う。または、理解度に応じた

もんだい ちょうせん
問題に挑戦する。

りかいふじゅうぶん もんだい しつもん
・理解不十分な問題は質問する。

げつれい けっか おう さいどかつよう
・月例テストの結果に応じて再度活用する。

ときどきふ かい かつよう ていちゃく はか
☆時々振り返って活用し、定着を図る。